

令和4年(2022年) 7月19日(火) 13925号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL : 06-6353-7831  
 FAX : 06-6353-7832  
 MAIL : metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB : https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配送料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

### 携帯電話国内出荷 2022年度・5月

前年比低迷68.5%

スマホは74.1%

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(時田隆仁会長)はこのほど、2022年5月の携帯電話国内出荷実績を発表した。台数は678千台、前年同月比は68.5%となり、2021年度全体の前年度比98.4%を大きく下回っている。

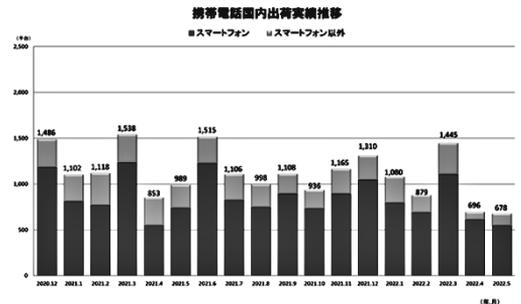
コロナ禍前の2018年4月801千台、2019年4月923千台と比べても低い水準となっている。

5月実績のうちスマートフォンは544千台、同比74.1%。出荷台数は低迷しているものの、単月のスマートフォン比率は80.3%と、先月に引き続きスマートフォンへの買い替えが進んでいる。

2022年5月 携帯電話国内出荷実績 (単位:千台、%)

	2022年5月		2022年4月～累計	
	前年同月比		前年度比	
携帯電話	678	68.5	1,373	74.6
うちスマートフォン	544	74.1	1,152	90.0

携帯電話国内出荷実績 月次推移 (2020年12月～2022年5月)



携帯電話国内出荷実績 月次推移

### 2021年度 国内サーバ出荷実績

各分野 台数・金額

前年比マイナス

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(時田隆仁会長)ITプラットフォーム事業委員会はこのほど、2021年度(2021年4月～22年3月)の日本におけるサーバの出荷実績を発表した。中心のIAサーバをはじめ、UNIXサーバ、メインフレームコンピュータも、台数・金額ともに前年を下回った。

IAサーバの出荷は220,445台、前年度比95%、金額は1,688億円、同93%。上半期は111,464台、前年同期比107%、822億円、同100%、また下半期は108,981台、同85%、866億円、同86%だった。

UNIXサーバは2,248台、前年度比81%、231億円82%。上半期は1,142台、前年同期比75%、97億円61%、下半期は1,106台87%、134億円107%だった。

メインフレームコンピュータは131台、前年度比82%、金額297億円98%。上半期は72台、前年同期比84%、142億円103%、下半期は59台81%、155億円93%だった。

21年度はコロナによる消費の停滞、世界的な半導体不足やサプライチェーンの乱れにより、出荷実績にも影響を及ぼした。今後の見通しは、コロナ禍で加速した新生活様式への対応、テレワークの推進や電子帳簿保存への対応、行政のデジタル化など、ITシステムを活用した取り組みが進むことが想定される。(次ページへ)

# 故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

## 森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

さらに、IoTの進展によるビッグデータの高速処理・解析、人工知能AIを取り込んだ生産性向上や価値創造の動きなどSociety 5.0(超スマート社会)への変革が求められており、こうした動きに対応した分野・領域で、ITプラットフォームのさらなる需要が期待できるとしている=表の通り。

サーバ市場は21年度に落ち込みが見られたが、プラス要因の浸透およびデータセンターへの投資などにより、今後も継続的な需要が期待できる。IAサーバは、より高機能なサーバシステムが求められ、幅広い用途で今後も需要の中心となることを見込まれる。UNIXサーバは、IAサーバへの分散などもあるが、企業の基幹システムを

担う需要もあり、一定の需要が見込まれる。メインフレームコンピュータは、高度の信頼性を要求される社会インフラシステムの中核で、今後も一定の需要が見込まれるとしている。

- ビッグデータの高速解析や人工知能 AI による新たな価値創造への取り組み
- 5G など通信インフラの整備や IoT デバイスの浸透に伴うデータ量の増加など市場変化への対応
- テレワーク推進など働き方改革に伴う IT インフラの増強
- クラウドを活用したシステム・サービスの拡大に対応するデータセンター構築・増強
- 社会や市場からの要請による高度なサイバーセキュリティへの対応
- 企業内ユーザ部門での利用拡大に伴う新たなサーバの導入
- システム運用効率化に向けたサーバ統合・仮想化からシステム統合への取り組み拡大
- 業務自動化 (RPA: Robotic Process Automation、ロボットによる業務自動化) など IT を活用した企業の生産性向上に向けた取り組み

## 自動車サプライチェーン強靱化

### WGが報告 経済産業省

経済産業省はこのほど、車載用半導体サプライチェーン検討ワーキンググループの中間報告「自動車サプライチェーンの強靱化に向けた取組」を公表した。安定調達に向けた取り組みとして、生産計画の提示方法の改善や、半導体の製品・工程変更手続の標準化、サプライチェーン強靱化に向けた方向性などを挙げている。

報告では、取り組みとして「生産計画の提示方法の改善」を提示。半導体メーカーの予見性向上を図るため、自動車メーカーからサプライヤーに提示する生産計画を改善し、その期間の長期化、情報粒度・提示頻度の向上などを挙げている。

「半導体の製品・工程変更手続の標準化」では、調達先の複線化や切替を効率化するため、半導体の素材変更などで必要となる製品・工程変更手続で、自動車メーカーごとの品質評価プロセスを標準化し評価期間を短縮することなどを挙げている。

また、「強靱化に向けた方向性」では、自動車メーカーが平時からサプライチェーンリスクを分析、コストとリスクのバランスを考慮しつつ柔軟かつ強固なサプライチェーンの構築を目ざし、その際、個社で解決できない課題は業界横断での取り組みや政府サポートを得つつ進めていくとしている。

さらに「サプライチェーンリスク評価」としては、①社内外のデータベース・分析ツールの活用を進めることで、サプライチェーンの構造把握を効率的に実施。②一部のサプライヤーは競争情報であることなどから取引先情報を開示していない現状を踏まえ、情報開示に理解を得られるよう平時から関係を強化。③カーボンフットプリントの計算など社会的要請を背景とした自動車産業の横断的なデータ連携基盤の構築も

見据え、情報流通のあり方について検討。

「サプライチェーンリスク対応」では、①リスクの高い部素材は、代替調達先の事前評価やコスト面も考慮しつつ在庫の積み増しを検討。②車両電子プラットフォームの高度化や、旧世代半導体の生産撤退リスクなどを考慮し、中長期的な半導体戦略を構築。③部素材産業のカーボンニュートラル実現に向けた支援によって国内生産基盤を維持。その上で撤退が避けられない場合には、特定国への依存を回避する形で調達先の複線化について検討一などとしている。

2020年12月以降に発生した世界的な半導体不足によって自動車サプライチェーンへの影響が懸念されたことから、安定的調達に向けた対応策を検討するため、21年5月、「新型コロナウイルス対策検討自動車協議会」内に国内自動車メーカーと同省が共同で検討WGを立ち上げた。21年後半以降は車載用半導体にとどまらないサプライチェーンリスクが顕在化したことから、その他の部素材も含めた自動車サプライチェーンの強靱化に向けた取組について議論を進めてきた。

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

WG参加のメーカーは、いすゞ自動車、カワサキモーターズ、スズキ、SUBARU、ダイハツ工業、トヨタ自動車、日産自動車、日野自動車、本田技研工業、マツダ、三菱自動車工業、三菱ふそうトラック・バス、ヤマハ発動機、UDトラックス、オプザーバー＝日本自動車工業会。

同省は製造産業局自動車課と商務情報政策局情報産業課。

**Nikkan Kinzoku**  
home. 

### 自動車サプライチェーンの強靱化に向けた方向性

● 完成車メーカーで十分にリソースを確保した上で、SCを分析し、コストとリスクのバランスを考慮しつつ、柔軟かつ強固なサプライチェーンの構築を目指す必要。個社努力で解決できない課題については、業界横断での取組や政府のサポートを得つつ、SCリスク軽減に向けて取り組んでいく。

SCリスク評価	①テクノロジーを駆使したSCの分析
	● 社内外のデータベース・分析ツールも活用し、調達部門が設計・開発等の他部門と連携して十分な人材リソースを確保した上で、SC分析を効率化。品目ごとに汎用性・代替可能性等の観点からリスクを分析。
SCリスク対応	②取引先情報の提供のあり方について
	● 情報開示について、サプライヤからの理解を得ることで、部素材や原料など可能な限り奥深くまでサプライチェーン情報を整理し、分析。 ● 直接的な取引がないサプライチェーン上流に位置する部素材等の業界との関係強化。 ● 横断的なデータ連携基盤の構築 ● カーボンフットプリントの計算などの社会的な要請を踏まえ、サプライチェーンでのデータ流通のあり方について検討。
	④代替調達先の事前評価と在庫の積み増し
	● ダイアモンド型SC等のリスクの高い部素材については、代替調達先の事前評価を行い、有事に代替調達できるように備える。 ● リスクの発生確率やリスクが顕在化した場合の影響を考慮し、在庫積み増しが必要と判断した部素材に関しては、コスト面の実現可能性を考慮して在庫を確保。
	⑤中長期的な半導体戦略の構築
	● 競争力や品質を毀損しないように留意しつつ、設計・開発段階で可能な限り部素材の標準化・品番削減を検討。 ● 半導体については半導体メーカー・ティア1サプライヤとも連携し、中長期的な半導体戦略を立案した上で部素材を調達。 ● 設計を担うSEや製造現場を支える技術者といった「半導体人材」の育成にも取り組む必要性。 ● 新車投入・フルモデルチェンジで新世代半導体に切り替えるタイミングで、民生品と同様に長期の調達（3-4年）及び標準化可能な半導体について標準化することを検討。
	⑥部素材産業の国内事業撤退リスクへの対応
	● 部素材産業のカーボンニュートラル実現に向けて多額の投資が必要となる場合には政府が支援しつつ、完成車メーカーは平時から部素材メーカーと関係を強化することで事業撤退リスクを適時に把握し、事前の対策を検討。

亜鉛くず 現金高価買受け  
亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山 えり

〒 580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974



#### 【経済産業省】人事

(7月5日付)

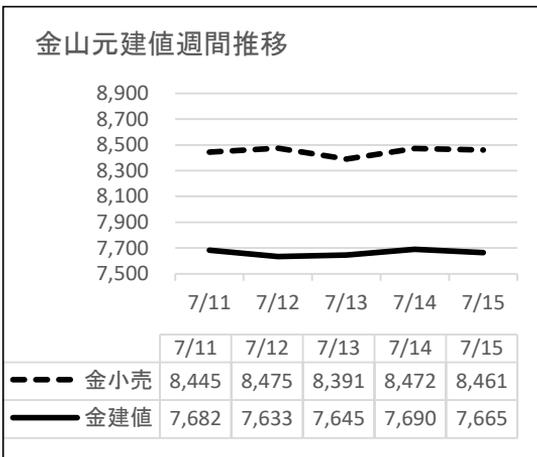
産業技術環境局資源循環経済課長の併任解除（資源エネルギー庁資源・燃料部石炭課長兼同庁長官官房総務課カーボンリサイクル室長兼産業技術環境局資源循環経済課長）羽田由美子▷産業技術環境局資源循環経済課長（日本貿易振興機構ベルリン事務所次長）田中将吾▷資源エネルギー庁資源・燃料部企画官CCUS政策担当（日本貿易振興機構ロサンゼルス事務所次長）佐伯徳彦（カッコ内は旧職）

<https://nikkankinzoku.co.jp/>  
PW: KINZOKU2207

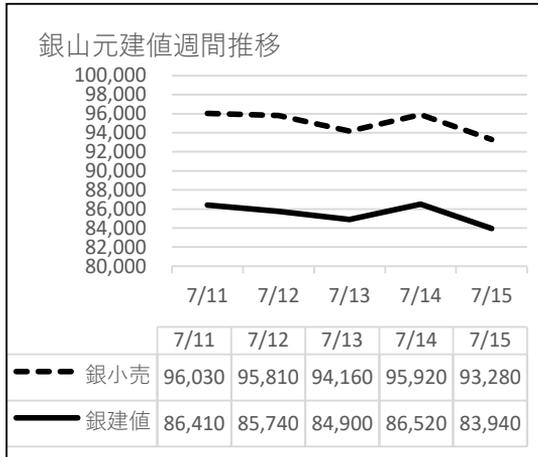


#### 金銀山元建値週間推移

7月11日~7月15日



	6月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		7,938.72	8,748.50
銀(¥/kg)		94,420	105,170



## 故銅市況

15日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場場で、直物の前場売値が、前営業日の7,267.00ドルより51.00ドル安の7,216.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,310.50ドルより150.50ドル安の7,160.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,275.50ドルより38.50ドル安の7,237.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,325.50ドルより155.50ドル安の7,170.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の9月限は、前営業日の332.25セントより11.10セント安の321.15セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の8月限は、前営業日の5万6,130元より390元安の5万5,740元。

15日の東京為替市場TTSレートは、前日の139.00円より0.94円の円安ドル高、1ドル=139.94円。15日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,216.00ドル。

### 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月13日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が806~811、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは771~776、並銅は736~746、込銅(高品位=約97%)は726、セパは605~610。コーベルは要り用筋で546、それ以外は531ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋556、それ以外526~536どころの値頃。並青銅削粉は644~649どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が786~806、上銅新くずが751~771、普通上銅が726~746、2号銅線が718~738、並銅が716~736、込銅(94-97%)が664、込銅(90-93%)が666、下銅が335~385、セパが570~605、コーベルが486~531、黄銅棒地が481~526、黄銅削粉が476~521、黄銅ラジが441~449、交叉ラジが414~471、黄銅銅削物が427~434、送りが297~316、上青銅削物が641~661、並青銅削物が621~636、上青銅削物削粉が636~656、並青銅削物削粉が611~631どころ。

## アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区(7月前半)

2S=220円~240円、63S=204円~255円、アルミホイール(1P)=116円~230円、ビス付サッシ=77円~86円、エンジンコロ=105円~113円、込合金(機械鋳物)=83円~91円、缶プレス(ソフト)=56円~66円。

### 関西地区(7月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~240円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=181円~191円、ベースメタル=149円~153円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=65円~68円、ビス付サッシ=83円~98円、缶プレス=73円~78円。

この値と15日の東京外国為替市場USD/TTSレートから計算した国内採算値は、前日の104万8,000円より1,000円安の104万7,000円。この日、電気銅建値は105万円に据え置かれた。

### 為替動向

14日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0110ドルのユーロドル高、1ユーロ=0.9990ドル~1.0000ドルで推移した。前日に続き一時パリティを割り込んだ。EBSのデータによると、現地14日午後1ユーロ=0.9952ドルと2002年12月以来、20年ぶりの安値を付けた。FRBをはじめ主要国の中央銀行が金融引き締めを加速、世界的な景気悪化への懸念が拡がり流動性の高いドルを買う動きが優勢となった。

14日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ1.50の円安ドル高、1ドル=138.90円~139.00円で取引を終えた。この日発表された米国の6月PPIの前月比1.1%の伸びとなり前月の0.9%から更に加速、市場予想の0.8%も上回った。前日発表された6月CPIも市場予想を上回っており、FRBが7月FOMCで1%の利上げに踏み切るとの見方が浮上。日米の金利差拡大を見越し円が売られ、一時は139.38円と1998年9月以来の安値を付けた。売り一巡後、FRBのウォラー理事らの「(7月FOMCでは)0.75%の利上げを支持」との考えが市場に伝わり、このところの急ピッチで進んだ円安による利益確定の円買いが入ったこともあって、下値の堅い円相場となった。

15日早朝の東京外国為替市場で円相場は小幅ながら上昇していた。8時30分、前日17時と比べ0.08円の円高ドル安、1ドル=139.01円~139.02円だった。FRBが7月FOMCで1%の大幅利上げに踏み切るとの観測がやや後退、利益確定目的の円買いドル売りが優勢となった。円は前日に一時139.38円を付け約24年ぶりの安値を更新した。140円を視野に入れる水準にまで円安が進んでいたことから持ち高調整の円買いが出た。ただ、高インフレが続くなかFRBが積極的な利上げを継続するとの見方は根強く、円の上値は限られた。

円は対ユーロでも上昇。同じく0.31円の円高ユーロ安、1ユーロ=139.28円~139.30円だった。

## 電気亜鉛・蒸留亜鉛販売 亜鉛ドロス・滓買入

## 大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3  
電話 06-6471-2531~5  
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5  
電話 03-3618-2351~2



LME銅相場は5営業日の続落で約8%安 直物終値は7,160.00ドル  
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は続落  
 LME非鉄相場は総じて軟調 鉛直物は反落の約5%安



15日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7月14日入電の7,267.00ドルより51.00ドル安の7,216.00ドル。5営業日の続落で7.90%安。この週7.37%の下落。7月に入って12.48%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の7,275.50ドルより38.50ドル安の7,237.00ドル。5営業日の続落で8.00%安。この週7.30%の下落。7月に入って12.23%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地7月13日の13万0,975トンより1,725トン減の12万9,250トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、7月14日入電の332.55セントより11.50セント安の321.05セント。反落して3.46%安。この週9.10%の下落。7月に入って13.57%の下落。8月限は、7月14日入電の332.50セントより11.20セント安の321.30セント。反落して3.37%安。この週8.90%の下落。7月に入って13.45%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、7月限が、7月14日入電の5万6,150元より310元安の5万5,840元。4営業日の続落で6.21%安。この週6.21%の下落。7月に入って13.12%の下落。中心限月に当たる8月限は、7月14日入電の5万6,130元より390元安の5万5,740元。4営業日の続落で6.62%安。この週6.62%の下落。7月に入って13.18%の下落。

**錫は反発**

LME錫相場の前場売値は、直物が、7月14日入電の2万4,900.00ドルより700.00ドル高の2万5,600.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.81%高。この週0.78%の下落。7月に入って5.36%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の2万4,425.00ドルより500.00ドル高の2万4,925.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.05%高。この週0.91%の下落。7月に入って6.65%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地7月13日の3,605トンより80トン減の3,525トン。

**鉛は反落**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7月14日入電の1,981.00ドルより90.00ドル安の1,891.00ドル。3営業日ぶりの反落で4.54%安。この週2.93%の下落。7月に入って0.84%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の1,950.00ドルより75.50ドル安の1,874.50ドル。3営業日ぶりの反落で3.87%安。この週4.17%の下落。7月に入って2.27%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地7月13日の3万9,250トンより25トン減の3万9,225トン。

**亜鉛は続落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7月14日入電の3,060.50ドルより88.50ドル安の2,972.00ドル。2営業日の続落で5.26%安。この週5.68%の下落。7月に入って8.60%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の2,988.00ドルより93.00ドル安の2,895.00ドル。5営業日の続落で6.76%安。この週5.70%の下落。7月に入って10.43%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地7月13日の8万2,200トンより2,725トン減の7万9,475トン。

**アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊は続伸**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7月14日入電の2,343.00ドルより14.00ドル安の2,329.00ドル。3営業日の続落で3.64%安。この週2.94%の下落。7月に入って2.84%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の2,355.50ドルより15.50ドル安の2,340.00ドル。3営業日の続落で3.43%安。この週3.09%の下落。7月に入って3.35%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地7月13日の34万0,300トンより万3,450トン減の33万6,850トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、7月14日入電より横ばいの1,710.00ドル。この週6.21%の上伸。7月に入って10.94%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電より横ばいの1,710.00ドル。この週6.21%の上伸。7月に入って10.94%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、7月14日入電の2,285.00ドルより39.00ドル高の2,324.00ドル。2営業日の続伸で2.83%高。この週5.64%の上伸。7月に入って7.81%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の2,287.00ドルより40.00ドル高の2,327.00ドル。2営業日の続伸で2.92%高。この週5.77%の上伸。7月に入って7.29%の下落。

**ニッケルは反落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7月14日入電の2万1,700.00ドルより1,365.00ドル安の2万0,335.00ドル。反落して6.29%安。この週4.33%の下落。7月に入って11.97%の下落。3か月物の前場売値は、7月14日入電の2万1,700.00ドルより1,315.00ドル安の2万0,385.00ドル。4営業日ぶりの反落で6.06%安。この週3.84%の下落。7月に入って11.49%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地7月13日の6万3,630トンより138トン減の6万3,492トン。

LME公示価格(US\$)／7月14日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,216.00	25,600.00	1,891.00	2,972.00	2,329.00	1,710.00	2,324.00	20,335.00
	前営業日比	▲ 51.00	700.00	▲ 90.00	▲ 88.50	▲ 14.00	0.00	39.00	▲ 1,365.00
先物	公示価格	7,237.00	24,925.00	1,874.50	2,895.00	2,340.00	1,710.00	2,327.00	20,385.00
	前営業日比	▲ 38.50	500.00	▲ 75.50	▲ 93.00	▲ 15.50	0.00	40.00	▲ 1,315.00

海外非鉄金属相場

(7月15日 入電・現地 7月14日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table showing US producer prices for silver (EH社, HH社) with prices and changes.

■NY相場

Table showing NY market prices for copper and tin.

■ロンドン相場(ドル)

Table showing London market prices for various metals like gold, antimony, bismuth, etc.

■KLT M 錫(MYR/KG、出来高トン)

Table showing KLT M tin prices for 14th and 15th days, including exchange rates.

■LME在庫(トン)

Table showing LME inventory for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

■上海在庫(トン)

Table showing Shanghai inventory for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table showing LME pre-market prices for copper, tin, lead, and aluminum.

■上海相場

Table showing Shanghai market prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

採算価格 プレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

※15日のKLT Mは取引がありません。

Summary table for calculation prices (採算価格) for various metals, including LME, COMEX, and Shanghai prices.

非鉄金属製品相場

(7月15日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1360	1360	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>
建築用0.3ミリ	1410	1410	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1490	1560	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1700	1560	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1610	1470	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1270	1330	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>
銅条1.5×100	1325	1375	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 32.5~34.6
銅線0.9ミリ	1350	1390	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 88.9~94.5
銅帯6×50	1280	1330	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 222~236
銅平角線	1550	1560	〃 5052板	775	735	<b>CV-T</b>
黄銅小板2.0ミリ	1135	1165	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1690~1797
〃 0.3ミリ	1165	1195	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2605~2769
黄銅大板2×1×2	1285	1345	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4376~4651
黄銅管	1765	1645	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2695~2860
復水器用黄銅管	1735	1615	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	910	970	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	<b>CVV</b> (関西-関東)
六角棒	940	1000	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2 131-134
四角棒	970	1030	白金(グラム)		◆4274	4C×2 176-180
鍛造用	950	1010	パラジウム(グラム)		◆9696	6C×2 250-256
ネーパル	1050	1110	金(グラム)		◆8461	7C×2 286-293
高力	1050	1110	銀(キログラム)		◆93280	<b>合金鉄</b> 5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1310	1345	<b>レアメタル輸入価格</b> 5月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有 234
黄銅平角線ロール仕上	1510	1555	金属ケイ素(99.99%未満)	525		〃 その他 339.9
黄銅条1.5×100	1130	1180	モリブデン酸化物	3934		フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2750	2940	タンタル	59294		フェロクロム4%以上炭素含有 303.6
〃 バネ用0.3ミリ	3030	3230	マグネシウム	651		フェロモリブデン純分60%以上 4001
リン青銅棒25ミリ	2840	3050	コバルト	10348		フェロバナジウム 4803
リン青銅線3ミリ	3240	3450	インジウム	29785		フェロニッケル33%未満 982.8
洋白板一般用1.0ミリ	3790	3920				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4070				

減摩合金	7月1日改定	銅合金地金	7月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5330	BC 1種	1290
2種	5170	2種	1635
3種	5000	3種	1725
4種	4385	6種	1415
5種	4210	7種	1525
7種	1415	YBSC 3種	1135
8種	1215	LBC 3種	1665
9種	1045	PBC 2種	1750



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(7月15日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		42,000 ~ 44,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
非鉄原料 (炉前材)								
1 トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	974	972	電 気 銅	◆1006	◆1001	◆1008	◆1003	
2 号 銅 線	922	—	電 気 亜 鉛	441	435	441	435	
上 銅 ( 新 切 )	945	937	蒸 留 亜 鉛	429	423	429	423	
雑 ナ ゲ ッ ト	795	799	再生ダイカスト亜鉛2種	360	354	360	354	
並 銅	877	866	再 生 亜 鉛 (98%)	312	306	312	306	
下 銅	858	839	電 気 鉛	302	299	302	299	
銅 削 粉	857	842	再 生 鉛 1 号	285	275	285	280	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	290	286	290	286	
新 切 黄 銅 セ バ	727	724	錫 1 号	3550	3500	3550	3500	
コ ー ベ ル	694	682	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900	
黄 銅 棒 地	678	670	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3050	3000	3050	3000	
黄 銅 削 粉	672	666	コ バ ル ト	10100	9800	10100	9800	
並 黄 銅	665	645	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	509	489	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	608	591	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550	
黄 銅 鑄 物	670	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580	
山 送 り (55%)	375	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 369	◎ 365	◎ 371	◎ 367	
上 青 銅 鑄 物	736	—	アルミ二次地金 99 %	335	330	335	330	
並 青 銅 鑄 物	734	712	〃 90 %	298	293	298	293	
上 青 銅 鑄 物 削 粉	729	—	アルミ二次合金ADC12	432	427	435	430	
並 青 銅 鑄 物 削 粉	719	700	鑄 物 用 C2BS	457	452	459	454	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	954	青 銅 合 金 地 金 3 種	1595	1585	1610	1600	
〃 ( 鑄 物 )	850	—	〃 6種	1305	1295	1300	1290	
リ ン 青 銅 削 粉	763	742	ハ ン ダ 錫 60 %	3555	3515	3575	3545	
新 切 洋 白 (電 子 材)	785	759	〃 50 %	3060	3010	3080	3050	
新 切 亜 鉛	221	221	〃 40 %	2630	2570	2585	2555	
ダ イ カ ス ト く ず	186	186	減 摩 合 金 2 種	5135	5105	5140	5110	
亜 鉛 ド ロ ス	164	175	〃 4 種	4355	4330	4360	4330	
上 鉛	142	140	〃 7 種	1395	1345	1395	1345	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125	
活 字 鉛	127	124		〃 ダライ粉		110	110	
新 切 ア ル ミ 1 級	242	244		高耐食ステンレスSUS316		260	260	
新 切 サ ッ シ 1 級	242	242		耐熱ステンレスSUS310		465	465	
新 切 合 金 1 級	227	222		13クローム 新切		24	28	
機 械 鑄 物 1 級	150	155		ハイス 9種		220	220	
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170						
合 金 削 粉 P	95	100						
込 ガ ラ P	90	92						
カ ン ・ バ ラ	170	161						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2207